

# 第4学年 国語科「ぶたんして図かんを作ろう」

本単元で育成したい言語能力

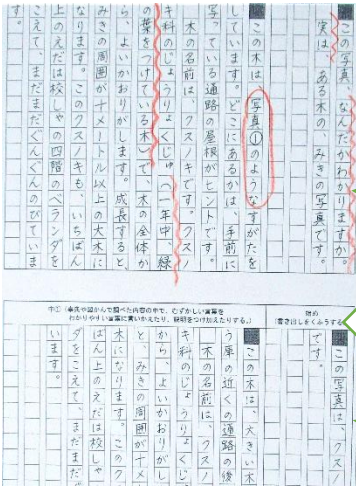
自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する力。

設定した言語活動

調べたことをまとめて図鑑を作る活動。

## 視点1 主体的に学ぶための工夫

手立て モデルの効果的な提示

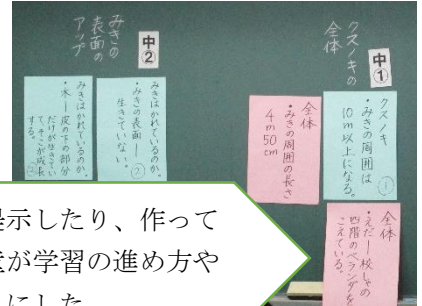


・活動の際には、モデルとなる実物を提示したり、作っていく過程をやって見せたりして、児童が学習の進め方やゴールを具体的にイメージできるようにした。

教科書掲載のよいモデル文

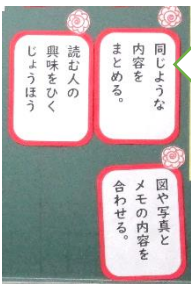
・よいモデルと課題のあるモデルを提示し、二つを比較することを通して、児童がよい図鑑を作るために必要な情報や書き表し方を考えることができるようにした。

教師作成の課題のあるモデル文



## 視点3 学びを深めるための工夫

手立て 学習内容の振り返りを毎時間実施



・本時の学習内容が分かったか、できるようになったかを、児童の振り返りをもとに確認して見せた。

・毎時間、ワークシートに今日の学習で分かったことやできるようになったことを書く時間を確保し、児童が学習活動だけではなく、学習内容を意識しながら学習できるようにした。

今日の学習で、どんなことがわかり、どんなことができるようになりましたか。  
今日の学習で、みんなに伝える文を組み立てるには、読む人の興味をひくような文を書くことがわかりました。

## 指導講評

- 話を聞くときや書くときの視点（学習内容）が、具体的に提示されていたのが有効であった。
- 読む対象が広いので、相手をしぼり、表現方法やテーマ選びについても相手意識をもたせるとよい。

## 成果と課題

- 学習内容を意識することを積み重ねることによって、他の書くことの学習でも同様に分かりやすい書き方をしようとする児童が多くなった。
- メモをキーワードで簡潔に書き、文章を書くときに相手に合った表現ができるようにしたい。